

加温ぶどう栽培におけるスマート農業実証事業の実施について

出雲の加温ぶどう産地を持続的に維持、発展させるため、国が令和 2 年度事業として公募した「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に応募し、下記内容により採択されました。今年度から 2 年間にわたって実証事業を実施します。

1. 実証する課題名

「ハウス環境自動制御による加温栽培ぶどうの栽培・販売体系改善」及び「ぶどう栽培匠の技を次世代に継承するための VR 学習システム開発」の実証

2. 事業主体と構成員

実施主体：出雲加温栽培ぶどうスマート農業実証コンソーシアム

構 成 員：出雲市農林水産部農業振興課（代表機関）

県東部農林振興センター出雲事務所（進行管理機関）

県農業技術センター、JAしまね出雲地区本部

（国研）農研機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究領域

東芝システムテクノロジー株式会社、実証農家（2 軒）

3. 事業概要

【実証する技術】

- ◆ AI による栽培管理・出荷予測システム
- ◆ ハウス内のモニタリングと自動制御システム
- ◆ VR 技術による栽培技術伝承システム

【目標】◆ 単収・秀品率 10%アップ

- ◆ 単価 6%アップ
- ◆ 労働時間 13%軽減
- ◆ 新規ぶどう就農者の秀品率 30%アップ

【事業期間】

R 2 年度～R 3 年度

（総事業費 [予定] 75,767 千円）

【令和 2 年度事業費】

55,479 千円（国 10/10）

4. 審査経過

令和 2 年 3 月 5 日（木）書類審査合格

令和 2 年 3 月 19 日（木）面接審査

令和 2 年 3 月 31 日（火）採択通知

